

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

国庫補助増額で

学校耐震化促進を

中国、四川省の大地震は7万人を超える方が亡くなられたり行方不明となつています。連日の被害報道に心が痛みます。なかでも都江堰市の小学校の倒壊で幼い命が奪われ、未来のある子ども達の死と残された遺族の深い悲しみにはやりきれなさを感じます。



この地震被害をきっかけとして、日本国内でも学校の耐震対策の遅れが指摘され、自治体負担が重く、なかなか進まなかつた学校の耐震化について国庫補助率の引き上げが検討されています。

急がれる

6校の耐震化

飯能市の場合、昭和56年以前の耐震基準で建築された学校について順次改修工事が行われています。対象となつていない学校は小学校が10校、中学校が5校ありますが、小学校では平成9年の精明小学校から始まり、第一小、富士見小、原市場小、加治小の5校、中学校は吾野中学校が工事を

完了しています。

今年度は加治東小学校が大規模改修を含めた耐震工事を行なう事になり、6月議会に、工事契約の締結の議案が提出されています。また、双柳小学

日本共産党の一般質問

質問時間と内容

11日(水) 14:20

滝沢 修

1、区画整理問題Ⅱ有識者会議の提言から①住民説明の必要性について②権利者間の公平性をどの様に図るのか③除外区域の対応について④事業期間の厳守、概ね20年の具体性について⑤元加治駅、南北駅前広場の整備

校の耐震診断調査、名栗小学校の改築事業も進められています。

今後、耐震診断や改修を予定している学校は、南高麗、東吾野の各小学校と第一、西、原市場、加治の4中学校、また7ヶ所の体育館となつてい

国では平成27年度までに耐震工事を行なうように指導されています。災害発生時に地域住民の避難場所にも指定されている学校です、国庫補助金の増額をはかり早急に整備を進めることが求められています。

策について
12日(木) 10

山田 利子

1、次世代育成支援行動計画Ⅱ①子ども憲章の制定について②経済的支援の充実について③多子入所世帯の第3子の保育料の無料化④父子家庭の支援策について⑤子どもと家庭を支援するネットワークについて⑥、障害者燃料費補助は障害者を同乗させる車にも拡大を。

3、福祉職場の人材不足を改善できるような市独自の施策を。4、名栗幼稚園の臨時教諭の処遇改善を。4、消防の広域化について

12日(木) 13:10

新井 巧

1、沢辺市政の3年間と、問われる地方自治体の役割。2、病院問題Ⅱ①公立病院ガイドラインと病院改革プログラムの策定について②病院経営の改善をどうすすめるか。3、給食問題Ⅱ食育推進計画と給食について①給食における食育の位置づけ②集中改革プランを見直し、給食調理員の採用を③給食の統合問題について④行政分野での食育推進

計画の位置づけ。4、長距離通学者の助成制度について

12日(木) 14:20

金子 敏江

福祉問題Ⅱ①後期高齢者医療制度の問題点と今後の対応②特定健診の充実③貧困化の中の「社会福祉構造改革」に自治体はどう向き合うのか。2、ごみの資源化、減量化の現状と有料化の検討状況について。3、市街地、山間地を問わず「空き家」の斡旋、売却促進事業の検討を。4、市民サービ

ス①年金相談の充実について②各種申請書の押印廃止について③飯能駅サービスクーナーの時間延長について

波 紋

「地球温暖化対策 日本共産党欧州調査団報告」を読むとびつくりさせられることがありますが、難しいことばかりませんが、ドイツには「国家自転車計画」があるというのです。

「環境首都」として知られるフライブルクでは「自動車のない、子どもたちが安心して住居の外で遊べる持続可能な街づくり」を目標にかかげ、中心部に来る人は、徒歩23%、自転車27%、公共輸送18%、自動車32%だといいます。飯能でも「自転車推進計画」をつくったらどうだろうかといったら笑われてしまいました。道路が狭くて、危険で自転車になんか乗れないというのです。でもまず市の職員、議員さんなどが先鞭をつけて、4キロ程度の範囲は自転車通勤したら空気はすいぶん変わるし、今まで気づかなかつた街づくりの問題点も見えてくると思うのです。ドイツでは、昼間は部屋に点灯せず、商店は6時閉店、24時間営業のコンビニもないといえます。持続可能な地球と地域のために、自分たちのライフスタイルを変える勇気があるかどうか私たちにも問われています。

約束の水
演劇のご案内
自然保護と高齢化問題。自然と人、家族のつながり、人と人のつながりを考える。

6月11日 (水) 午後6時45分開会
飯能市民会館大ホール
一般3000円、ペア券5000円、学生2000円
主催:「約束の水」飯能公演実行委員会

1年で大きく成長

NPO 法人あおーら第二回総会開かれる

5月31日、総合福祉センターで、精神障害のある方をサポートする「NPO 法人あおーら」の第二回総会が開かれ、



アトラクションでのマツケンサンバ

共産党から金子、山田、滝沢市議が参加しました。代表理事である田中正彦さんのあいさつでは、一年間で大きく成長した

「あおーら」の様子が熱く語られました。昨年4月に、長年続けてきた小規模作業所「わかばの家」を発展的に解消し、NPO法人をたちあげ、「就労移行支援事業所わかばの家」、「地域活動支援センターわかばの家」と地域活動セン

ターのレストラン部門「カレーハウスあおーら」、小規模作業所「こころのほーとすぺーすセラヴィ」と、家族会「みのり会」が8年前に始めた「わかばの家」から出た4本の枝はしっかりと葉を茂らせました。(あおーら通信)

小規模作業所は、家から一步をふみだす支援、地域活動支援センターは、さらに社会参加をすすめたい人、「レストラン部門」は、楽しく働いてみ

たい人、就労移行支援事業は、就業をめざす人を支援するもので、それぞれの事業の登録者数は倍増し、この地域で精神障害者の方々の拠り所として、この4つの事業所がそれぞれに地域に根をはり、大きな一步を踏み出しました。

事業所の活動を少し紹介すると、「セラヴィ」では毎昼、指導員手作りのセラヴィランチを囲みながらの団らんを中心に、手芸や絵画、歌で楽しんでいきます。

4日、社会福祉法人名栗園の特別養護老人ホームあしかり園がリニューアルし、竣工式が行われ、厚生文教委員の金子敏江・山田利子両市議が出席しました。

式典終了後、施設内を視察させていただきました。重度の方も安心できる浴室や、くつろげるフロアーなどもあり、部屋には「本町1番地」というように町名に番地がついて、2階には本町・東町、3階には南町・仲町があり合計40名が入室できます。

6月議会の主な議案

環境基本条例案などを提案

6月市議会には、十件の議案が提案されています。三件の条例案の改正については、国の税制改正にもなつて、専決処分したものの承認を求めています。

案され、市民が健康で文化的な生活を営むことのできる良好で快適な環境を確保することを目的に環境保全の理念、市、市民、事業者等の責務や施策を定めようとするものです。

施設の asbestos 調査を実施しましたが、国が前回対象としていなかったトレモライトなどが使用されているかどうか再び調査するための予算などが計上されています。契約の締結では、加治東小学校の大規模改修・耐震補強工事について、細田建設と契約を締結するための議案が提案されています。

条例提案では、飯能市として初めて制定する環境基本条例案が提

補正予算案の主なものは、平成17年に公共

は、平成17年に公共

特養・あしかり園の増設竣工式

個室・ユニット型は県内初



施設長の石井芳江さんは、「開設以来40年、建物の老朽化に伴い建て替えを17年に市と相談した際、国・県の「先進的事業補助金」でユニット型の施設として整備することを決める。18年に地籍調査を始めると遺跡の出土により工期が遅れたが、基本理念の「人を人として介護する」にふさわしい温かみのある施設になって、利用者に

喜んでもらえると思う」とあいさつ。残念ながら石井岱三理事長が病氣療養中であることも報告されました。

ユニット型とは、食堂・リビングなどの共同生活ルームを囲むように、いくつかの個室が配置されたものを1ユニットとする。介護はユニットごとに受けられる。

文化欄



- たたかかって汚名返上名ばかり管理職
- 新しい時代の萌芽か柿若葉
- ばあちゃんにねだる話術も知恵袋
- 本郷 笑子

- 白じらと数字並べるお役人
- 増税を社会保障のためと
- 年寄りにますます重く消費税
- 財界の意のままに動く族議員

永田一夫

日本共産党演説会

医療政策の転換 ルールある資本主義に

7月11日 (金) 午後7時開会

飯能市民会館小ホール

弁士 塩川てつや衆院議員

いま、自民党政治に代わる新しい政治をつくりだす歴史的転機です。「新しい政治とはどうあるべきか」、日本共産党の改革の方針を語ります。

お誘いあわせてご来場ください。

主催：日本共産党飯能市委員会・同後援会